

## 2 教養力育成科目を通して身に付けるコンピテンシーとカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共通コンピテンシー（能力・資質）			定義	コンピテンシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（編成方針）
DP1	A	幅広い教養	リベラルアーツを目指した知識と思考力	相異なる解が想定される複雑な問題に対処する知識や多面的視座を得ることができる。	人文・社会、並びに自然科学の各分野における基本的概念や理論を習得できるようになるための科目を配置する。
	B	専門知識・技能	当該分野において必要とされる知識と技能	（該当せず）	（該当せず）
DP2	C	ライフデザイン力	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	社会の変化に合わせて自らのウェルネスを築くと共に、人生をデザインし、自己実現に向けて絶え間ない努力を重ねられる。	生涯にわたる健康を十分に維持できるようになると共に、学生生活やその後の人生についても洞察を深められるようになるための科目を配置する。
	D	メタ認知・実現力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	自己理解を深め、適性も見極めながら目標を設定し、実行とその振り返りを繰り返しつつ、実現へ向けた取り組みができる。	自己の適性がどの分野に合致するかを見極めると共に、実社会における活動の導入になるための科目を配置する。
DP3	E	グローバルマインド	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	多様な価値観やバックグラウンドを持つ他者を尊重しながら問題解決に向けて協働できる。	世界の諸地域における文化や言葉に関する実用的な知識を獲得すると共に、異なるバックグラウンドを持つ人々と円滑な関係を築けるようになるための科目を配置する。
	F	未来構想力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	人類社会が経験しなかった新たな問いに実践知に基づき立ち向かいながら、その解決に向けて歩める。	現代社会の課題に対応できる力や人間としての望ましい生き方を考え、よりよい社会を構築する視点を養うための科目を配置する。
DP4	G	デジタル力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	数理やAI、データサイエンス、ICTの知識に基づいて、データを的確に分析し、状況を把握できる。	情報の処理能力や読解力、さらには発信力に関わる技能に習熟できるようになるための科目を配置する。
	H	発信力	自らの考えを適切に伝えることができる力	日本語及び基礎的な英語で自らの考えを分かりやすく論理的に構築でき、またそれに基づいて背景や意見を異にする相手ともコミュニケーションが取れる。	言語能力を獲得するための科目と非言語も含めた幅広いコミュニケーションを実践できるようになるための科目を配置する。

### ■カリキュラム・ポリシー（実施方針）

#### 【学修方法】

1	知識の習得は主に展開群の諸科目で、能動的な学習態度の涵養は特にコア群の科目を通して、いずれも学生が主体となって活動する形の学修方法を取りながら達成させる。
2	進路に資する課題は、キャリア・デザインやウェルネス、自己成長と学び等の授業で扱うと共に、各授業科目で学習ポートフォリオを活用した活動の振り返りによる自己調整や自己発見を習慣化させることで身に付けさせる。
3	英語や異文化理解、海外研修、地域創生、インターンシップ等の科目を通して、異なる背景や文化を持つ人々と協働して課題解決が図れる能力の涵養に努めさせる。
4	ITリテラシーやAIデータ・サイエンス等の科目を通して、数理的なものの見方を身に付け、情報を的確に整理・分析し、適切なデジタルツールを用いた発信もできる姿勢を育てさせる。

#### 【学修成果の評価】

1	各授業科目の学修内容、習得する知識・能力、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバス等により学生に周知し、それに則した適切な成績評価を行う。
2	ディプロマ・ポリシーで示された資質・能力の達成状況については、全学的な学生調査等によって評価する。